

第11号

発行者 社会福祉法人養和会 東京都八丈島八丈町大賀郷 7670-1
tel 04996-2-0770 fax 04996-2-0432

誰もが安心の八丈を目指して

理事長 沖山 芳清

八丈の秋から冬への移ろいは、西風がはこんで
きます。

「秋深し、となりは何を、する人ぞ」

松尾芭蕉が生きた時代を思い描くと、おじいさん、おばあさん、親と子どもたちでにぎわう家庭。貧しくても、隣近所が支えあう情景が見えてきます。

今を生きる、私たちの家族の絆や地域文化は、昭和30年代の高度経済成長期を経て多様化し大きく変わりました。

テレビや新聞には、限界集落・地方疲弊・孤独死・介護殺人・無縁社会などの話題が毎日のように流れ、胸が詰まるような、今という時代が映しだされます。

八丈町も高齢化率32・5%の「超高齢社会」を迎え、「隣近所」が支えあう地域力が衰えてきました。そして、本来喜ぶべき「長寿」が社会問題になっていきます。

介護を社会全体で支える仕組みとして、平成12年4月、介護保険事業制度がスタートし、わが国

の高齢者福祉は「措置」から「選択利用」へ、大きくかじを切りました。

介護制度は、複雑で一般の方にはなかなかよくわからない面もありますが。

簡単にいえば、行政があれこれ言うのをやめて、サービスを必要とする本人が自分の意思で選択する、「契約制度」への転換です。

介護制度が始まって10年が経過、高齢者を取り巻く環境がめまぐるしく変化する今、養和会は、八丈町の高齢者ニーズにしっかりと対応できる組織づくりを目指します。

そのため、「組織」・「事業」の両面において抜本的な見直しが必要と位置づけ、改革の一步を踏み出しました。具体的には、役員の関与と責任を明確にし、役員が先頭に立った執行体制を構築します。

事業においては、時代の要請でもある「介護」に特化し、高齢者が住み慣れた地域で快適に過ごせるよう、関係機関と連携を強化、在宅福祉サービスの向上に取り組み、八丈町の隅々まで、安心を届ける役割を果たしていきたいと思えます。

養和会ホームページが新しくなりました

「養和会ホームページ」の拡充と有効活用を図るため、職員による運営委員会で検討を行い、本年11月にレイアウトを一新するとともに、掲載内容の充実化を図りました。

具体的には、養和会の規定や定款といった情報を掲載していませんでしたが、より養和会について知って頂くため掲載しております。また、養和会内の行事や、ボランテアや慰問に来て頂いている方々の活動を、島外の方にも見て頂けるようにしました。

現在、養和会では改革元年と位置づけ、理事長・施設長を筆頭に人材育成や経費削減等に取り組んでいます。

サービスの向上を図り、利用者に喜んで頂くためのものです。これらの組織や施設内の変革についても掲載したいと思っております。

デイホームに新しく理学療法士を配置

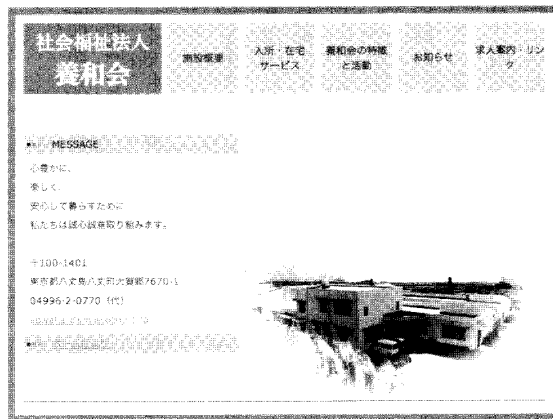
病院長外来リハと同程度の機能訓練の提供へ

本年10月から、デイホームに伊原恵美子理学療法士(以下PT)が配置されました。

デイホームの勤務は、火・水・木曜日が常

勤で、それ以外の曜日は隔週の予定です。

これまでデイホームでは、町立病院における外来リハ終了後の十分な機能訓練の提供が



ホームページのURLは
<http://www17.ocn.ne.jp/~yowakai/index.html>
 となっています。是非ご覧下さい。

ありがとうございます
 ございました

当養和会は多くの皆様から、現金、野菜、花、その他施設に有用な物品などの寄付を頂きました。

左記にご氏名を掲載し、ご芳志に厚く感謝申し上げます(本年4月から9月まで、順不同、敬称を略させて頂きます)。

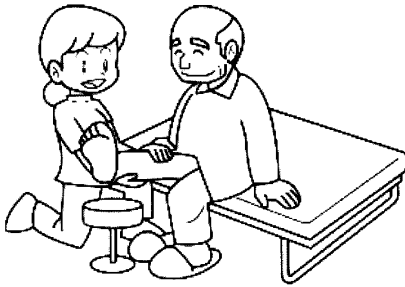
小宮山まき子 高野照男
 奥山利平 金田哲哉
 八丈ナーセリー 田代栄子
 山下昌子 高安医科
 磯崎正幸 銀座食糧販売
 佐久間トミ子 山下和彦
 菊池スミ 毛塚靖正
 磯崎光彌 船橋光光
 菊池光子 冲山光男
 奥山ヨシ子 吉田愛次
 内山満恵 佐々木アツコ
 平山アイ子 浅沼侯一
 小沢三井 仲曾根マツエ
 日本絵手紙協会 三崎 佑
 菊地肇 菊池政敏
 佐藤純子 中島浩
 小栗としみ 奥山文章
 大沢玉政 伊藤峯代
 天田福美 奥山トキエ
 浅沼一美 西浜敏子
 小松トミ子 奥山都子

できませんでした。今後は、P.Tの評価の元、看護師とともに、各自に必要な運動プログラムを提供させていただきます。

伊原P.Tは専門分野の「介護予防」に加え、「若い方の肩こり・腰痛軽減・良い姿勢：等々」の「予防医療」も実施されており、今後は島全体の健康増進分野でも活躍が期待されます。

体が動きにくくなった等々感じている方がいらっしやいましたら「居宅介護支援事業所」にご相談下さい。

伊原P.Tより一言 「八丈島の美しさ、人のあたたかさに触れて、この島の良さを日々感じていきます。高齢者の方々がとてもお元気でこちらもパワーを頂いています。安心して年をとっていただける様に健康増進やりハビリのお手伝いをさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。」



運動は身体に良いのか？

運動が身体に良く、高血圧の方が運動を勧められる理由はどうしてでしょうか？

運動の強度を高めると、血圧が高くなり、心臓に負担がかかり、心臓が活発に活動する必要があるため、普通より多くの酸素が必要となってきます。

どうして血圧を下げるために血圧の上がる運動が良いかというと、運動によって血液がある程度血管の隅々まで流れ、末梢の血管が太くなり抵抗が低くなります。そして運動によって交感神経が高り、その反動で、日常生活では精神的にも身体的にもリラックスしたり、血圧を下げる働きをする副交感神経が多く働き、血圧が下がると考えられています。

しかし、いきなり強い運動をすると身体に悪影響を与える可能性もありますので、徐々に運動することをお勧めします。

ご高齢の方や麻痺等の障害がある方など、身体状況にあった運動を提供させていただきますので、ご相談ください。

盲目平次郎

川上清福

金城雅子

菊池元弘

船橋一市

大沢一勝

藤巻卯子

松岡一里

草刈真由美

八生建設

奥山千鶴子

沖山のし

浅沼幸哉

寂光苑

菊池糸す

菊池陽之助

菊池実

三根婦人会

大賀郷婦人会

榎立婦人会

中之郷婦人会

末吉婦人会

赤松保吉

篠崎石男

浅沼道一

田中弘子

鍵山トシミ

菊池すま子

佐々木秀子

菊池保之

田代和久

菊池誠

北条サダノ

高橋成人

八丈島空港ターミナルビル

山下食品山下伍郎

純福音八丈島教会

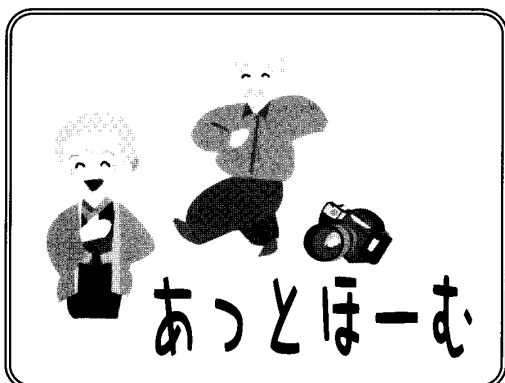
金土川老人クラブ

東京都食肉生活衛生同業組合

八丈島警察署内ほうべい園

○お願い○

ホームでは布が不足しています。使用済みのシーツやタオルがありましたら寄附をお願いします。また、布を切っていたらポランティアを募集しています。よろしくお願いします。



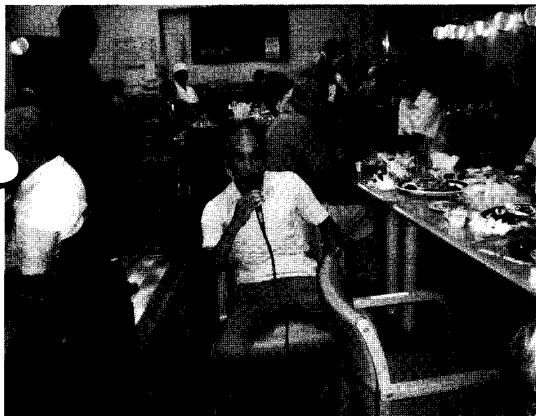
○ 大神宮神輿

10月19日 大神宮の神輿が養和会に来てくれました。利用者も一緒になって盛り上がりました。



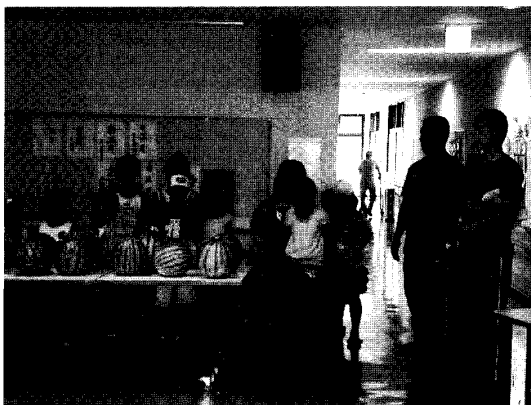
○ 商工会女性部

10月19日 商工会女性部の方が慰問に来てくださいました。踊りやカラオケ、フラダンスと楽しい一時を過ごすことができました。



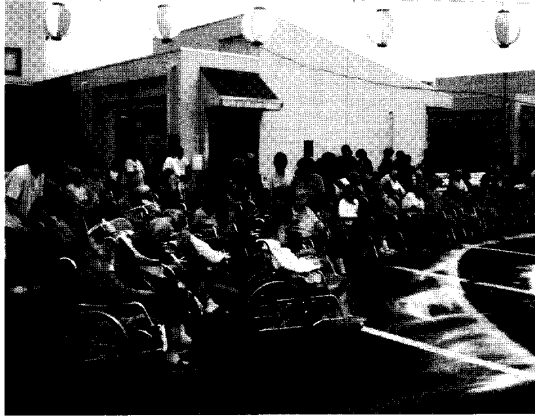
○ ピアガーデン

9月3日 養護老人ホームのピアガーデンを開催しました。あいにくの天気のため室内で行われましたが、カラオケ等で盛り上がりました。



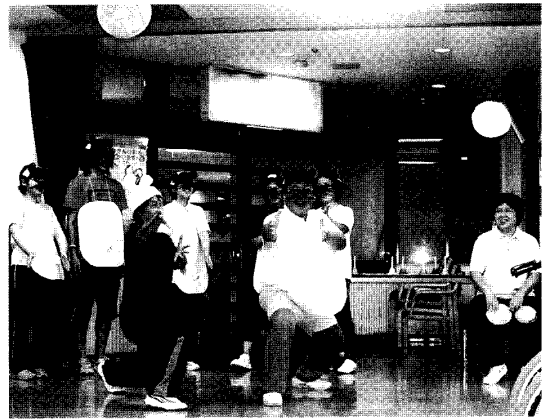
○ ほうべいえん

8月2日 「ほうべいえん」の小学生と八丈島警察署員の方が、たくさんスイカを持ってきてくれました。入居者が大変喜んでいました。



○盆踊り大会

8月17日 養和会の盆踊り大会が行われました。連合婦人会や檜立踊り保存会、利用者、職員なども参加して盛大に行われ、約500人の来場者がありました。



○お月見会

9月15日 特別養護老人ホームのお月見会が開催されました。雨模様で室内での開催となりましたが、職員による踊りや利用者のカラオケ等にぎやかに終わることができました。



○演芸会

6月29日 養和会の演芸大会が開催されました。カラオケや舞踊、職員と利用者がいっしょになって劇や合奏を行うなど、楽しい日でした。



○90歳のお祝い

9月1日 浅沼八丈町長から、90歳の表彰状一封が送られました。金尾玄洋・浅沼はつえ・竹・奥山マツヲ・近藤好美・広江美智子・江子さんです。おめでとうございます。



○日本障害者ダンス推進会

7月16日 日本障害者ダンス推進会の方が慰問に来ていただきました。利用者は推進会の指導のもと、手や身体を動かして、活気に満ちたひと時を過ごすことができました。

ボランティアの皆様に支えられて

養和会には、個人、利用者のご家族、さまざまな団体がボランティアとして係わってくださり、利用者生活の潤いや施設管理を支援していただいています。

多数ある中から、今回は3例をご紹介します。

まず、6月14日、大賀郷地区の婦人会の方、



15名が来てくださり、オシメ用の布を切っていただきました。

次は、9月30日、大賀郷地区の老人クラブの方40名近くが来てくださり、花壇の草取りとオシメ用の布を切っていただきました。4月にも来ていただいています。

最後は、松本重子さんです。毎週水曜日に、



利用者の洋服の繕いや洗濯物をたたみに来ていただいています。「寮母さんや入所者の方との会話を楽しんでいるようです。」

皆様、本当に有難うございます。



社会福祉法人養和会 平成21年度決算書(総括)

貸借対照表(平成22年3月31日現在、単位:千円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	635,295	流動負債	49,306
		固定負債	224,654
		負債の部合計	273,960
固定資産	1,761,221	基本金	10,266
基本財産	1,095,798	国庫補助特別積立金	891,231
建物	1,048,806	その他の積立金	457,419
土地	46,993	次期繰越活動収支差額	763,640
その他の固定資産	665,422	純資産の部合計	2,122,556
資産の部合計	2,396,516	負債・純資産合計	2,396,516

事業活動収支計算書(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動収入計	862,770
事業活動支出計	836,004
事業活動収支差額①	26,766
事業活動外収入計	21,728
事業活動外支出計	4,769
事業活動外収支差額②	16,959
経常収支差額①+②	43,725
特別収入計	28,714
特別支出計	28,744
特別収支差額③	△ 30
当期活動収支差額①②③	43,695
前期繰越活動収支差額	726,895
当期末繰越活動収支差額④	770,590
基本金取崩額	0
基本金組入額	0
その他の積立金取崩額⑤	6,849
その他の積立金積立額⑥	13,800
次期繰越活動収支差額 ④+⑤-⑥	763,639

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

資金収支計算書(単位:千円)

勘定科目	決算額
経常活動収入計	818,319
経常活動支出計	754,696
経常活動資金収支差額①	63,623
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	15,641
施設整備等資金収支差額②	△ 15,641
財務活動収入計	35,490
財務活動支出計	43,240
財務活動資金収支差額③	△ 7,750
当期資金収支差額①②③	40,232
前期末支払資金残高	566,067
当期末支払資金残高	606,299

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

財産目録(単位:千円)

科目	合計金額
資産の部	2,396,516
負債の部	273,960
差引正味財産	2,122,556

(平成22年3月31日現在)

感染症対策にご協力を！

【インフルエンザ、ノロウイルスに注意】

養和会では感染症対策委員会を設置し、保健所や町立病院の医師のアドバイスを受けながら看護師、介護士、栄養士、理学療法士など、さまざま職種で話し合いを持ち、感染症の学習、予防対策を実施し、感染症対策に取り組んでいます。

ご家族や地域の皆様と共にこれからの感染症の季節を乗り切っていきたいと思えます。

○ 感染症の発症・感染拡大を予防するには！

「手洗いが1番」

一番大切なのが「手洗い」です。「ワンケア、ワン手洗い」を合言葉に、こまめに手洗いを行いましょう。



「介護者の健康が蔓延防止のカギ」

介護する者が健康でなければいけません。感染症の知識を深め、自分自身の健康管理に十分気をつけましよう。インフルエンザの予防接種を受けましよう。



「栄養、睡眠をとり体力をつけよう」

体力と栄養状態の低下は感染症に罹りやすくなります。睡眠、栄養、水分を十分取り、抵抗力をつけましよう。おかしいと思ったら、すぐに病院で見てもらいましよう。

来所者の皆様、ご協力をお願いします！

★感染症の流行期には、家族や地域の皆様にも施設に入る場合の手洗いの徹底、マスクの着用などをお願いすることになります。（施設の玄関と出入り口に手洗い場を設け、アルコールの消毒液を設置しています。）

★地域で感染症が流行し、学級閉鎖などの措置がとられるようになったら、利用者様への面会や交流をご遠慮していただく場合もあります。

★施設内で感染症が蔓延した場合は、デイホーム、ショートステイをお休みにさせていただきます。

体力的に弱者である高齢者が多く生活する場所であることをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

